

おふでさきにこもる親心を胸に



大教会では、朝つとめ時におふでさを拝読する。

親神様の親心を噛みしめる大切な時間で、一日が始まる。

病氣や災難、人間関係のもつれなどからどうしても喜べないとき、心を静めておふでさを拝読すると、今の自分に当てはまるお歌が目飛び込んでくることがあります。「なるほど、親神様の思召はここにあったのか」と、おふでさきにこもる親心の真実が胸に治まれば、可愛いっぱいの御心に抱きかかえられている喜びが改めて実感でき、前に進む勇気が湧いてくるのです。

『稿本天理教教祖伝』に、教祖は、親神の思召のまにまに、明治二年正月から筆を執って、親心の真実を書き誌された。これ後日のおふでさきと呼ぶものである。(一〇三頁)と記されています。

おふでさきには、時に「残念、立腹」といった厳しいお言葉や、「雷、地震、大風、水つき」といった天変地異を表す言葉が出てきます。しかし、これらは決して私たちを苦しめよう、懲らしめようとするものではありません。その前後には必ず「世界一れつを余さずたすけたい」との親心溢れるお歌が誌され、私たちに心の立て替えを促されるのです。

真 朋

発行所

天理教芦津大教会

〒546-0003

大阪市東住吉区

今川8丁目6番32号

電話 06 (6702) 1980

FAX 06 (6700) 1854

Eメール shinmei@ashitsu.or.jp

印刷所 天理時報社

このよふな事をするのも月日にわたすけたいとの一ちよはかりで 十二号
にち／＼にをやのしやんとゆうものわ
たすけるもよふばかりをもてる 十四号
35 78

正面四方

この8月、1カ所の部内教会のお戻りをお運びいただいた。お運び前は、設立当時の島原分教会前会長や

いが心を廻り、数日、心が治まらない状態であった。

お運び当日の朝、ふみ子奥様が各教会のお目標様に深く頭を下げられ「また一日も早くそれぞれの教会にお戻りいただこうな」と仰り、涙が溢れた。

全てが粛々と進み、最後に大教会長様が「今回お戻りを回避した教会もある。また、お戻りいただいた教会にも、信者さんがいる所もある。今は、その丹精が大事である」と、お諭しくださり、目が覚める思いがした。

今、お道も世上も切り替えの節目を迎えている。後ろを振り向くときではない。今こそ、「おたすけ」と「丹精」の旬なのである。

(教)

《8月次祭 挨拶》

今一度、親神様の思召を求め たすけ一条の心で通ろう

大教会長 井筒梅夫

皆様方には、日頃は時旬の御用の上にご丹精いただきまして、誠にご苦勞様でございます。

さて、東京オリピックが開催され、日本が史上最高数のメダルを獲得するなど、日本中が大いに沸いた夏でした。その一方で、コロナ禍の第5波で、首都圏や関西を中心に多くの地域が最高の感染者数を記録するなど、感染爆発が起こっている最中でもあります。これに加えて、各地で豪雨災害が起こりました。

このコロナの感染爆発と豪雨災害という大きな事情が重なったことを思いますと、何か親神様が念を入れてお仕込みくださって、私たちを導いてくださっているように思えてなりません。そこでこのふしを通して促されている親神様の思いを、今一度たずねてみたいと思います。

コロナについて思案する場合は、感染症に関するおふでさき（参考にするわけですが、教祖の御在世中にはコレラと天然痘（痘瘡）が感染症として流行しました。

コレラについては、

せかいにハこれらとゆうてゐるけれど

月日さんねんしらす事なり

十四号 22

と、親神様の残念の表れだと示されています。そして、

これからハ心しいかりいれかへて

よふきづくめの心なるよふ

月日にわにんけんはじめかけたのわ

よふきゆさんがみたいゆへから

親神様が人間をお創りになった元初りの思いをしつかりと心に治めて、陽気づくめの心になるように促されています。

また、天然痘（痘瘡）が流行しましたが、このときのおふでさきは、

なさないとのよにしやんしたとても

人をたすける心ないので

これからハ月日たのみや一れつわ

心しいかりいれかゑてくれ

と、人をたすける心がないのが情けない、どうか人をたすける心に入れ替えてくれ、これが親の頼みや、とまで仰っているのです。

そして、続くお歌で、この親神様の頼みを聞き分けて、お互いに一れつ兄弟姉妹として助け合うのなら、どんな守護もしてやるとお約束してくださっているのです。

こうしたおふでさきを通した思案はこれまで度々としてきましたが、どうかお互い、今一度改めて親神様の思召を、共に心に治め直させていたきたいと思います。

また、昨今の豪雨災害、いわゆる天災については、

かみなりもちしんをふかせ水つきも

これわ月日のざねんりいふく

これも親神様の残念、立腹の表れであると示されています。親の残念、立腹は、さまざま厳しいお仕込みを通して私たち人間に

十四号 24

十四号 25

十二号 90

十二号 91

八号 58

知らせてくださいます。しかし、この残念、立腹の裏には温かい、そして大きな親心があることを忘れてはならないと思うのです。

たすけたい一条の親心

私たちは身上を頂きますと、いろいろとさんげをさせていただきます。我が心を振り返り、これまでの歩みを振り返って心を定め直すわけですが、身上についてのおふでさきの一つに、

なにもかもたすけ一ちよとめるなら

神のさんねんみにさhariつく

三号 78

と、たすけ一条の道を止めるようなことをすれば、これを神の残念として身上にするすと仰られます。また、

とのよふなせつない事がありてもな

やまいでわないをやのさねんや

十四号 77

と、親の残念はつらく切ない身上に表れてくるわけです。しかし、

こらほどにさねんつもりであるけれど

心しだいにみなたすけるで

十五号 16

と、親神様の御心にどれほど残念の思いが積もっていても、心次第で皆たすけてやると、救いの手を差し伸べてくださっているのです。また、

このさhariてびきいけんもりいふくも

みなめへくにしやんしてみよ

五号 20

こんなことをしていたらたすけ一条の役に立たんと思召されたら、時には厳しい身上お手入れをくださることがあります。しかし、

どのよふにいけんりいふくゆうたとて

これたすけんとさらにゆハんで

五号 22

と、親にどれほどの意見や立腹があったとしても、これたすけん

とさらに言わんと仰せくださるのです。ここにもたすけの綱をお垂れくださっているように思います。これが親神様の親心です。

この道は、この世治める真実の道です。私たちは間違いのない確かな信心の道についているのです。先人たちもこの道を通りきって、私たちにたくさんのものを遺していただきました。

ただ、今は教勢が少々停滞しているところに、思わぬコロナ禍でダメージを受けて右往左往の状態ではあります。しかし、「これたすけんとさらにゆハんで」「心しだいにみなたすけるで」とお約束してくださっているのです。心次第で、通り方、つとめ方次第で、どれほどの楽しみの道が開けてくるかわかりません。たすけ一条の心を定めて通れば、この先勇んだ道の姿を御守護いただけるに違いないと思います。

いかほどにさねんつもりであるとても

ふんばりきりてはたらきをする

十五号 17

このお言葉を信じて、親神様に踏ん張りきってお働きをいただけるように、教祖がおつけくだされたたすけ一条の道を、たすけ一条の心で共に勇んで通らせていただきたいと思います。今月の月次祭も大変ご苦勞様でございました。(要約)

統合により御本部にお目標様をお戻しした教会

※(一)内は統合先の教会

島原部属	島西分教会 (島原)
津和部属	和睦分教会 (和阪)
稗島部属	福姫分教会 (福)
大島部属	大阪港分教会 (芦南)

立教184年8月24日

《8月月次祭 神殿講話》

今できることを日々実行し 御恩報じを形に表そう

役員 山田道弘

まずは八月に起こりました日本列島各地での豪雨災害において、被災に遭われた方に対して、心よりお見舞いを申し上げます。

術^{ずつ}ないことはふし

コロナ禍の終息が未だ先の見えない状況が続いていますが、その中、賛否両論、紆余曲折を経て東京オリンピックが開催されました。

1年延期され、オリンピックという舞台に立つまでの苦悩や葛藤など、苦しかった日々の中を支えてくれた人々への恩返しを結果で報告したいと、選手たち一人ひとりが、心が倒れそうになるところを、前を向いて、コツコツと努力を続け、まさに節を乗り越え、「節から芽が出る」如くの活躍に、大きな

力や感動を頂いたのは私だけではないと思います。
おさしづに、

ずつない事はふし、ふしから芽を吹く。やれふしや／＼、樂しみやと、大きな心を持つてくれ。

明治27年3月5日

と、お教えくださいます。

「ずつない事」とは「術^{すべ}のない事」という意味です。私たちは、人生において何度となく岐路に立たされる場合があります。苦しんだり、行き詰まったりし、それが時にその人の生き方を左右することもあります。信心する上でも同じことが言えるでしょう。こうした、私たちの力ではどうすることもできない出来事を「ふし」と仰せられます。また、

もうあかんかいなあ／＼というは、ふしという。精神定めて、しっかり踏ん張りてくれ。踏ん張りて働くは天の理である、と、これ論し置こう。

明治37年8月23日

と、仰せくださいます。「もうどうすることもできない、というような節を迎えたときは、心を定めて、しっかりと踏ん張りなさい。その踏ん張りに親神様が働いてくださるよ」と、励ましてくださっているようなお言葉です。

ふしと句

「ふし」と近い意味で使われる言葉に「旬」という言葉があります。旬とは、魚や野菜などの味が最もよい季節という意味がありますが、他にも「ものごとを行うに適した時期」(広辞苑)という意味があります。お道では、親神様のたすけのお働きが、その人、その場合に最も適した時期をいいます。一面「ふし」は消極的、「旬」は積極的な語感がイメージとしてあるようにも感じられますが、この二

つは裏表の関係にあるとも言われます。おさしづに、

一時の水防ぐ事出けん。成らんから、これ一つふし^も以て句論す。

明治34年5月25日

また、別のおさしづには、

銘々こうと旬を定めて、これはどうと尋ねば、論しようもあるもの。

明治31年1月10日

と、仰せくださいます。

人それぞれが、こうさせていただこうと時を定めて、おさしづを伺えば、論しようもあるという意味に取れますが、この時、この日を吉祥として心を定め、親神様に思いを繋ぐこと、それが「旬」になるということです。

さらに、

心一つの理を以て一つの句という。

明治22年10月4日

とも仰せくださいます。

こうして思案してみますと、「ふし」があつて心を定めると「旬」になるということになります。つまり、どうしようもない術^{ずつ}なき「ふし」をお見せいただいたとき、そこをしっかりと踏ん張って「心

を定める」と、親神様のお働きがその人、その場合に最も適した時期「旬」になるという図式が成り立つのではないのでしょうか。

ふしに込められる親心

私たちが心定めをするときというのは、何らかの折り目、節目のときだと思います。その「親神様にお受け取りいただきたい」と定めた心定めと実行こそが、私たちの「真実」として親神様にお受け取りいただき、その人、その場合に最も適した成人の「旬」となつて、大きな御守護としてお返しくださる。

ふしが無ければ、何かの事も聞き流し。……一つのふしが無ければ聞き分けが来ん。

明治 22 年 10 月 9 日

とのお言葉通り、私たちは親神様の目から見れば、まだまだ未熟な成人の鈍いお互いでありましょう。「ふし」は、そうした子供の行く末を案じられる上からの大きな親心だということが分かせていただけだと思います。

只今のコロナ禍や、自然災害という大きな節にも、親神様の大きな親心を悟らせていただき、この節を通して、自らの日々やこれまでの自分自身の信仰をも省みて、お道の信仰者らしく前を向いて、心を定めて、人たすけの御用に励ませていただくことが大切なのだと思います。

私たちの、そうした心定めと実行に、この節が旬となつて、この先の陽気ぐらしの道が進んでいくのではないのでしょうか。ですから、今が本当に大切なときであり、お互いが、自分自身の信仰を見つめ直しながら、どんな信仰を磨いて、

どんな日々を過ごしていくのかによつて、この先の教会の姿や、道の未来が決まっていくような気がしてなりません。

先人たちの伏せ込み

今年は、眞明組講名拝戴 140 周年の年ですが、考えてみれば、この 140 年を振り返るとき、今まで何もの節がなかったのかといえそうです。はないでしょう。

井筒梅治郎初代会長様が、教祖から「眞明組」の講名を戴かれてよりここに至るまでには、幾度の大きな節もお見せいただきながら、先人先輩方は、その節を一つひとつ大きな心定めをもつて生き節とし、節から芽が出る御守護を繋いで、今の私たちがいるのだということは紛れもない事実です。

私たちの教会も、それぞれの家の信仰も、信仰の元一日に始まり、数々の節を乗り越えて来てくださればこそこの今であります。私たちが時々にお見せいただく、不思議珍しい御守護の数々も然り、やはり先に蒔いてくださった種が

あればこそその御守護であつて、言い換えると、親々、先人が伏せ込んでくださったお徳のおかげに他ならないと感じます。

講名拝戴の節目に際し、そうした先人たちの大きな伏せ込みがあつての今の私たちであることをしっかりと感じて、そして、今を通る私たちが、時々頂戴するそれぞれの御守護も、そうした伏せ込みのおかげに他ならないのだということを次の代へも伝えさせていただきます。

23 年ぶりのおちば帰り

5 年前、当教会で 23 年ぶりにおちばに帰ってくれたようぶぐがいました。この方が、なぜ 23 年ぶりにおちばへ帰ることとなつたのか。実は、この人はこのおちば帰りより 1 年前、大きな身上となり生死の境をさまよつた方でした。後で聞いた話ですが、身上で倒れる数日前から、結婚して関東に住む長男の所や嫁いだ娘の所にも突然会いに行ったり、仕事の関係でお世話になつた方々に会いに行ったり、



日頃親しくしている町内の方々を家に招待して会食をしたり、わずかにひと月余りの間に、自分に関わりのある方々に会えるだけ会ってというような奇妙な行動をとっていたとのことでした。

その後、どうにも身体の調子が悪く、近くの病院に受診をすると、医者からは「うちでは設備が足りないから、転院して治療をうけるように」とのことでした。紹介状を書いてもらい、すぐに大きな病院に行き、これから検査が始まるとストレッチャーに乗った瞬間、ほとんど意識が薄れていつて、記憶がなくなりました。それから大変だったそうです。

元の原因は肝臓の病で、すい臓

の機能低下、また、腎不全を引き起こし、尿の毒素が体中を回り、今から病気の原因を調べようかという瞬間から、一気に臨終の境目に引きずりこまれて、すぐに家族が病院に呼ばれ、「あと2〜3日がヤマです」と言われたのです。本人は、そこから数日の出来事は全く記憶がないとのことでした。

実は、親しい人たちに会えるだけ会おうという奇妙な行動をとっていた合間、教会にも顔を出してきていて、そのとき私に、「会長さん、来年、私はおぢば帰りをしたいと思います。仕事が10月末で区切りがつくので、11月におぢば帰りたいと思いますので、そのときはよろしくお願いします」と、1年後のおぢば帰りの約束をして帰っていききました。なぜかと言うと、その頃、夢を見ると亡くなった親の夢であったり、おじいさんやおばあさんの夢であったり、教会が出てくる夢であったりと、毎日のようにそうした夢を見て、「おぢばに帰らせていただこう」と思ったのだそうです。

結果、3日がヤマと言われた臨終の底からわずかに数日で意識が戻り、しかも、命はたすかっても大きな後遺症が残って、これまでのような生活は二度と無理との医者の診たてでしたが、元の原因であった肝臓も全てが正常値、他の臓器も無事で、心配された後遺症のかけらもありません。医者も驚く、

実に不思議な、鮮やかな御守護を頂戴されたのです。そうして23年ぶりのおぢば帰りをさせていただき、あれから5年、今も元気に働かせていただいています。

ようばくではありますが、まだまだ成人の最初の段階で、分からないことが多いこの方の御守護の元はどこにあったのか。それが、先に積んで下された親々の「伏せ込み」なのでしょう。

この方は、おじいさんからの信仰で、おじいさんが癰疽にかかり、當別分教会二代会長・山田喜一郎のおたすけによってたすけられました。以来、このおじいさんは、教会の御用、神様の御用を我が事として、我が身、我が家の都合を横に置いて真実を尽くしてくださいました。夜寝ていても、突然神様の夢を見て教会に足を運んでくれたような方でした。

このようばくが、意識不明になる数日前からの事を考えると、教祖が親の夢を見せ、教会の夢を見せ、ふと、おぢば帰りに心が向く心を定めて、こうした御守護を頂

き、おぢばに帰らせていただく事ができた。

「伏せ込み」とは、先の物種、徳積み、種蒔きです。確固たる理の伏せ込みがあればこそ御守護であって、今、頂戴する私たちの御守護も、決して偶然ではないということなのです。

この道は御恩報じの道

教祖から直接おたすけいただいた人たちでも、皆、信仰につき、信心を始めていったのかといえ、感謝はしたが、切れていった人たちはばかりです。成らん中をたすけていただいていた感謝をしなかった人はいなかったでしょうが、感謝もし、有り難いとは思ったけれど、それを御恩報じの形に表すことができなかつた人たちが大半でありました。

しかし、この道をつけ、広げ、繋いでくれた人たちは、親神様の御守護に感謝をし、その御守護を「恩」と感じて、生涯その恩を忘れることなく御恩報じを実行に移して通られた方々であり、私たち

の親々、先人たちは、そうした思

いでこの道に伏せ込んでくだされ
た。大きな節にこの道と出会い、
教えを聞かせていただいて親神様
の大きな御守護を知り、心のほこ
りやいんねんの自覚をさせていた
だく中に、我が身、我が家に見せ
ていただいた辛く、苦しいいんね
んを、少しでも自分たちの代で切
らせていただきたい。我が子や孫
に、このいんねんの姿を残すこと
なく、今よりも少しでも結構な人
生を送ってもらいたいという、親
として、先に道を歩む者としての
思いがあったのではないでしょう
か。

だからこそ、これからの人たち
を思い、先の喜びを思い描いて、
どんなに辛く、苦しい中をも「今
を喜んで、先を楽しんで」道の御
用に伏せ込まれたのだと思います。

今こそ理を積み重ねよう

現在はコロナ禍によって、さま
ざまな制限があったり、これまで
当たり前にしてきたことが、でき
ないことも実際にたくさんありま

す。

しかし、1年半が経過し、これ
ならできるといふこともたくさん
あるように思います。それぞれが
置かれている状況は違いますが、こ
でできることも違ってきますが、こ
の「ふし」を生き節として、節か
ら芽が出る御守護を目指して、で
きることに、今すべきことを心に定
めて実行に移し、10年先、15年先
の理づくりに努めさせていただか
なければならぬと強く感じます。
私たちの信仰の元一日には、教
祖の親心をお掛けいただいて、た
すけていただいた大きな御恩があ
ります。そしてそれぞれの信仰の
歴史を辿れば、幾度の節を、心を
定めて踏ん張ってお通りくだされ
た先人たちの伏せ込みがあります。
今年は、眞明組講名拝戴140周年
の年。「感謝」と「報恩」を合言
葉に、句に相応しく、精一杯の眞
実を寄せ合って、御恩報じを形に
表し、眞明組講名拝戴140周年記念
秋季大祭へと、共に勇まらせてい
ただきましよう。

(要約)

立教百八十四年 八月月次祭祭文

これの神床にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に、天理教芦津大教会長
井筒梅夫、慎んで申し上げます。

親神様の十全の御守護にお護り頂き、日々を恙なく結構にお連れ通り下さいま
して、成人の道をお導き下さいます親心の程は、誠に有り難く勿体無い限りで
ございます。私共は感謝と報恩の心で、御恩報じに努め励まして頂いておりま
すが、その中にも今日の吉日はおちばよりお許しを頂きました月に一度の大切
な日柄でございますので、只今から役目に与る者一同心を揃え、座りづとめ、
陽気てをどりを勇んで勤めて、八月の月次祭を執り行わせて頂きます。御前に
は残暑厳しき中、ならん中を参り集いました芦津の道の子達が、日頃賜る御恵
みにお礼申し上げ、真心を込めて伏し拝む状を嬉しく御照覧下さいまして、親
神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。更には、各々のおたすけ
の上に、よろづたすけのつとめの理をお垂れ下さいますよう、重ねてお願い申
し上げます。

コロナウィルスの感染拡大の出口が未だ見えず、世界の人々が不安を抱く中に
あって、私共をはじめ芦津の理に繋がる教会長、ようぼくは、この節に籠もる
親神様の思召を深く思索し、世の中に明るい希望の光が差し込むよう、教祖の
お付け下されたたすけ一条の道を、一手一つに心勇んで歩ませて頂く所存でご
ざいます。

まだ〳〵届かぬばかりではございますが、親神様には一同の誠眞実をお受け取
り下さいまして、不思議自由の御守護のまに〳〵、節から楽しみの芽が出る姿
をお見せ頂けますよう、一同と共に慎んでお願い申し上げます。

シリーズ 夢——未来を拓くために

第2回 おとまり会、こども食堂の夢

四ツ山分教会(福岡県大牟田市) × 紀周分教会(和歌山県すさみ町)

子供たちを教会へ、おちばへと繋ぎたい。そんな思いをもって、おとまり会やこども食堂に取り組む教会に、コロナ禍でも続けている現状とこれからについて語っていただきました。

——どちらの教会も、以前から「教会おとまり会」を熱心にされていましたね？

紀周 妻が、実家の教会でおとまり会をしていたのを見て育ったので、「おとまり会をしたい」という夢を持って嫁いでくれたんです。

最初は信者さんの子弟とか数名から始まったんですけど、毎月やってだんだん定着していった。妻が自分でチラシを作って学校の校門で配って、直接「来てね」とって声かけていたら、時間はかかったけどちよつとずつ人数も増えて、多いときは40人から50人来るようになりました。

四ツ山では、子供と一緒に料理をするでしょ？ あれってすごい魅力的ですよ。

四ツ山 うちがおとまり会を始めたのは、教会に来やすくなるんじゃないかな、というのがきっかけですね。最初は息子の友達1人からでした。

子供たちに料理をさせるのは、大人になったときに自分

で料理や洗い物とかがちゃんとできる人間にならないといけない、と思ってるんです。

だから包丁は3、4年生ぐらいから持たせていますけど、怖いですよ。でも、料理は全部手順を決めておいて、まずは切って炒めなさいって、一緒にしてるので、そんなには危なくないんです。

うちは私と妻の2人だけでやってるんですけど、他のスタッフが入ると、子供にさせたいことを大人がやってしまう。そうすると、子供たちの成長がないわけですよ。だから後片付けも掃除も、全部参加した子供たちにさせています。

——こども食堂を始めたきっかけは？

四ツ山 これまで15年以上おとまり会を続けてきたけど、自分が思っていたように若い人が繋がらないし、体力的にそろそろきつくなってきたところに、コロナ禍になって、



四ツ山分教会の「ふれあいこども食堂」。参加した子供たちは、食事の後、自分たちで洗い物や後片付けを行う。

ことで、「こども食堂で参拝させたら集まらないんじゃないかな」と思ってた私は否定的だったんですけど、妻がそうしたいと言うからやってみたら、みんな普通に参拝に行きますね。

紀周 うちも、今年になって県庁から「こども食堂をしてください」というお話があったんですけど、おとまり会もずっとできていなくて、どうしようっていうタイミングだったので、乗った。もし何もなく、おとまり会をずっとやってたらこども食堂はしていなかったと思います。

ただ、「宗教色を抜いて、場所だけ教会を借りる」という形なので、参拝はさせていないんです。ところが、教会に来たことのない子は、お弁当だけでもらってすぐ帰るけれど、

おとまり会ができなくなった。そのときに、「こども食堂がないな」と思って始めたんです。本当にいいタイミングだったし、コロナがきっかけでこども食堂に切り替えました。最初は教会で準備して提供するだけでしたが、今はお金も取っています。食堂で食べた後は、洗い物を自分たちでさせています。

以前におとまり会に来てた子には、先に参拝に行かせてます。それは妻が言い始めた

おとまり会に来てる子は自分でちゃんと参拝してるし、一緒に来た友達に説明して、参拝させたりしてますね。

四ツ山 こども食堂も、ご飯を食べてすぐ帰らせたら、それで終わってしまうので、いかに教会に滞在する時間を長くさせるかが大事ですよ。

だから、コロナ禍が収まったから、次は日帰りの「おとまり会」に移行していきたい。以前も、午前10時から始めて午後3時まで、という形でやってきたことがあるんです。

あとは「どうやって大人を巻き込もうか」を考えてます。こども食堂には何人かが手伝いに来てくれるから、その人たちのよう増やしていくか。

紀周 うち最近、民泊の受け入れもしてるんですよ。中高生を1泊2日や2泊3日で受け持っていますが、「天理教のことに一切触れさせないでください」と言われているんです。だから、朝夕のおつとめもさせられないんですけ

ど、その中で何かできないかと思って、「神殿から音がするから、気になったら見に来ていいよ」と伝えて、「学校の帰りとかに、こんな音がどっかで聞こえるからね」と言っているんです。

あと、妻が「着物の着付けを教える」と言っていて、おつとめ衣を着せたりしています。**四ツ山** そういう活動は先に繋がる可能性があるから、すごくいいと思いますよ。そういう目的意識があるというこ

とが大事ですよ。

紀周 民泊で神奈川の高中生が来たことがあって、「天理教

って聞いたことある？」って聞いても、全然知らないんですよ。関西ではこどもおぢば

がえりのCMも流れてるし、教会の周辺にはチラシを配っているから、知っているのが普通だと思ってたら、関東では全然知らないんですよ。

四ツ山 だから、もっと外にアピールしていかないとね。こども食堂も、みんなどん

んやった方がいいと思います。

紀周 うちのこども食堂は天理教を名乗れないので、今までお道に懷疑的だった人が、「こ

れは宗教行事じゃないですよ」って確認してから手伝いたいと言っています。

行政からは「公民館を使ってく

さい」と言われるんですけど、「教会でしたい」と断っています。

四ツ山 紀周さんは行政から頼まれてやっているけど、う

ちはあくまでも教会行事としてやっているから、そこが違いますよね。

実はうちも「公民館でやらないですか」と聞かれたことがあった。公民館でやったほうが人も集まるだろうし、手伝いも増えるんでしょうけど、それでは目的が全然違ってくるんでね。だから、この形は絶対に崩せないですね。

——おとまり会やこども食堂に限らず、これから何かを始めた教会は、どんなことを考えればいいでしょうか？

紀周 四ツ山の会長さんと違って、私自身は何もできないので、おとまり会を始めるときに考えたのが、みんなに関わってもらうことだったんです。ようばくや信者さんに、「何かできることはありません

か」と尋ねて、紙飛行機を作ってもらったり、乗馬をやっている人に馬を連れてきてもらって乗せてもらったり、いろいろな大人に関わってもらう形で始めたんです。

それがきっかけで、奥さんが今も手伝いに来てくれています。

四ツ山 そのやり方が理想的ですよ。結局、こども食堂も子供を通して、その親にどうやってアプローチするかを考えているんですが、それがなかなかできない。だから親に携わってもらうことって、すごくいいことだと思う。

紀周 民泊受け入れの講習会に行くと、「家族の日常に入れてあげてください。何も特別なことをしないでください」と言われるんですよ。だから、もしおとまり会を始めたら、子供のお友達に「うちに泊まりに来ない？」って感じで、教会家族と一緒に過ごすというところから始めるのがいいと思う。



紀周分教会では今年から「すさみこども食堂」を実施。ボランティアを含め、多くの方が手伝いに来ている。



コロナ禍になるまでずっと続けてきた「教会おとまり会」。紀周分教会には、多いときで50人以上の子供が集まった。

それに、芦津団のドッジボール大会も、「おとまり会はできないけど、何か子供たちが集まることをやりたい」という思いから生まれた活動ですからね。だから形にこだわらずに、別の形でやればいいし、教会でできなかったら、おちばでやってもいいと思う。

ただけでしたけど、あれでいいと思うんですよ。そこから友達を連れてくるとか、ちょっとずつ広げていけばいいと思うんですね。

大阪市内の教会なら、大教会がおとまり会をするときに「一緒にさせてください」っていうことでもいいし、どこかの教会が大教会と合同で始めたら、「うちも一緒に」っていう声が絶対上がってくる。そのうちに「うちの教会でも縮小版をやってみよう」と思ってた広がらんじゃないかな。

四ツ山 それ、絶対にいいと思う。そこ

に子供と友達を連れていけばいい。他の教会の子供たち同士で仲良くなれるしね。

結局、子供たちは遊ぶのが楽しいんだから、何をやってもしよう場所を提供するだけでいいんですよ。

紀周 うちは昔、20年近く鼓笛隊をやっていたんですよ。9割方が未信者の子でしたけど、そこからようばくに育った子が1人もいなかった。一生懸命やっても信者子弟しかようばくにならないし、難しいなって思ってたんです。

その後、おとまり会をしてても、やっぱり信者さんの子しか繋がらない。それでも、最近ちょっとずつ、他の子も繋がってきて、小さな芽が吹いてきたんです。

そう思うと、他の子もどこかの教会に繋がる可能性があるんじゃないかなって思うんです。人生の中で「もう、あかん」っていうときに、誰かがおたすけに行っておさづけ



四ツ山分教会で15年以上続けたおとまり会の様子。この日は、支部のひのきしんに子供たちと一緒に参加した。

ばに連れていくと、その子が将来、病んだり悩んだり道に迷ったときに、どこかのおたすけ人がその子のところに行くと「昔、天理教の教会に行ったことがある。おぢばがえりに行つたことがある」となると、おさづけを取り次いでもらえる子になる。全く教えを知らない子に「おさづけをさせてください」と言っても断られるけど、1回でも足を運んでいたら、おたすけに繋がる道ができる。おとまり会にしてもこども食堂にしても、それをつくる役割だと思つて、とにかく、どうやって教会に足を運ばせようか、どうやっておぢばに連れて行くか、という思いで続けるのが大事じゃないかと思ひます。

——ありがとうございます。

(聞き手 編集部)

青年会芦津分会総会を2年ぶりに開催

青年会芦津分会（井筒敏成委員長）は8月29日、大教会で総会を開催。大阪府に緊急事態宣言が発出されていることから、常任委員と主立つ会員のみの25名が参加した。

午前10時、井筒委員長が親神様、教祖、祖霊様を礼拝し、祭文を奏上。その後、女子青年の協力のもと3交替でおつとめを勤めた。

式典は、北村真彦委員の開式の辞に続いて、青年会長様のビデオメッセージを視聴。

次に、大教会長が祝辞。「今できること、今だからできること、今やらねばならないことを一つ一つ実行し、陰の徳積み、理づくりをして、来年の青年会長様御臨席総会に臨んでもらいたい」と期待を述べられた。

続いて井筒委員長が挨拶。2年ぶりに総会を開催できた喜びを話した後、「御臨席総会まで残り1年。



その後全員で「あらきとურიよう指針」を唱和し、声高らかに「天理教青年会々歌」を斉唱。最後に、加藤仁委員が閉式の辞を述べ、総会を締めくくった。

八月月次祭 祭典役割

祭主	大教会長	指図方	奥田正徳	湯川正徳 献饌長
	守田清一			
	岩切正義			
	贄者			
贄者	岩切正義	贄者	奥田正儀	伝供
	前	贄者	奥田正儀	
	後	贄者	奥田正儀	
座りつとめ	大教会長	瀧本眞二郎	樋川泰士	在籍者一同
	石川道夫	奥田眞治	吉田裕樹	
	今川政治	河端芳雄	榎川康紀	
てをどり	会長夫人	吉田幸子	榎川文子	在籍者一同
	竹内艶子	松森明美	山田秀子	
	奥田富美子	瀧本美奈	瀧本美奈	
地方	井筒文夫	吉田裕和	西本興正	在籍者一同
	川畑澄博	立花善三	村田光伸	
	山本義範	木村真次	川畑正博	
ちやんぼん 拍子木	岩切正教	石川健郎	今川聖一	在籍者一同
	岡島秀男	梶川和隆	瀧本忠亘	
	湯川正圀	立花善文	花岡忠和	
太鼓	竹内義忠	中村俊和	岡本久昭	在籍者一同
	井筒敏成	西本義之	梶川芳男	
	加世田洋	葭内浩	河合善洋	
小鼓	井筒敏成	西本義之	河合善洋	在籍者一同
	井筒敏成	西本義之	河合善洋	
	井筒敏成	西本義之	河合善洋	
三味線	井筒ちぐさ	河合遊喜恵	山本広子	在籍者一同
	中村美津代	川畑祝子	木村理恵	
	榎理恵子	岩切孝子	浜田千代実	

8月月次祭に

子供たちにお下がりが配布

育成部

毎年8月23日に実施している「夏休みあしつ親子参拝」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2年続けて中止となったが、大教会近隣の教会長、ようぼくの子弟たちが月次祭に参拝。祭典後、月次祭に供えられたお下がりが、子供たちに配られた。



参拝した子供たちにお下がりが配られた

女子青年の集い開催

婦人会女子青年

婦人会芦津支部女子青年は、8月29日、青年会芦津分会総会に合わせて「女子青年の集い」を開催。大阪府に緊急事態宣言が発出しているため、

委員8名が参加した。

まず、青年会総会のおつとめで女鳴物を勤め、青年会長様のメッセージと大教会長の祝辞を拝聴した。

昼食後、井筒さちえ委員長を芯に今後の活動について相談。10月に開催予定の「こかん様に続く会」の内容と、会報『シャイニー』の企画などを話し合った。

行事中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、左記の行事が中止となりました。

芦津道の後継者の集いⅡ
第2次 10月2日、3日

教務部報

修養科教養掛 (7月～8月)

井筒 文夫

教養掛

浜田 宣郎・瀧本 亘
樋川 泰士・吉田 充人
松本さだえ・岡島きよの

教人登録

三好 忠大(稗 島)

立教184年7月31日

おさづけの理拝戴《7月》

河合 育代(直 轄)
畠中 元(芦山都)
木下 瑠理(福田荘)

日置 裕子(甲 邊)

《拝戴順》

初席《7月》

《2名》直轄

《順序運びより》

眞明組講名拝戴 140 周年記念

《秋季大祭》

10月23日(土) 午前10時30分

神殿講話：内統領 宮森与一郎先生

対象：在籍者、教会長夫妻、後継者

※1教会につき、必ず1人以上の参拝者を

《おぢば帰り》

10月24日(日) 午前11時

本部神殿で拍子木を入れておつとめ

南礼拝場以外に分散して昇殿してください

神苑のパイプ椅子もご利用ください

月例統計(自令和3年1月1日～至令和3年7月31日)

項 目	初	の	修	教
名 称	席	お	養	人
() 内教会数		さ	科	
大 教 会	(1)	理	修	
大 教 会	11	さ	了	
東 津	4	づ		2
吉 野		け		
島 原	2			
日 方	2			
稗 島	1		2	1
本 津				
日 高				
始 良				
津 和				1
門 司				1
當 別	4		6	
大 沖				
尼 崎		2		
四 ツ			1	1
大 冠				1
島 下				
天 保	1			
青 山				
芦 浪		1		
甲 邊		1		
芦 華				
天 津				
入 江				
豊 野				
紀 周	3			
勝 明				
神 の 島				
兵庫眞洲	1			
芦 ノ 郷				
本 明 勇				
明 道				
芦 東				
和 鎮		1		
神 滝 本				
芦 明 徳		1		
眞明彰化				
本 氣				
芦 明 照				
眞 伯				
合 計 (213)	29	32	13	7